

学校 教育 目標	豊かな『感性』と確かな『学び』							
	【知】自ら学び、考え、ともに学び(高め)合う子どもを育てます。 【徳】さまざまな学習活動を通して感性豊かな子どもを育てます。 【体】健康で安全な生活ができる子どもを育てます。 【公】人と人、地域とのつながりを大切にする子どもを育てます。 【開】国際社会へと視野を広げる子どもを育てます。							
学校 概要	創立 8 周年	学校長	江口 和良	副校長	中村 英治	2 学期制	一般学級: 20	個別支援学級: 5
児童生徒数: 675 人		主な関係校: 山内中学校、山内小学校、元石川小学校、新石川小学校、(すすき野小学校、すすき野中学校)						

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○自分らしさを表現する力 ○他者のよさに気づく力	山内中学校 山内小学校 新石川小学校 美しが丘西小学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりや感謝の気持ちを持ち、互いに尊重し合って生活できる子ども ・豊かに学び合い、社会の一員として自ら判断し、責任をもって行動できる子ども ・小中双方の公開授業を参観し合い、義務教育9年間を通して豊かな学びを実現する。 ・小中合同街頭募金等を実施し、思いやりや感謝の心をはぐむ。 ・中学校ブロックの職員全員が参加する人権研修を開催して教師自身の人権感覚を磨き、互いに尊重し合って生活できる子どもの育成に努める。

中期 取組 目標	じぶんだいすき、ともだちだいすき、ふるさとだいすき、びにし8(ピニシエイト)！ ○「子どもが主体的に学ぶ」授業への取り組みをさらに進める【知】 ○子ども一人ひとりの感じ方を大切にして、自分らしさを表現するとともに、他者を認め合うようにする【徳】 ○食や運動の大切さを知り、健康的な生活を送ろうとする意識を育てる【体】 ○保護者や地域、外部団体を積極的に受け入れ、人や地域とのつながりの中で学ぶ機会を増やす【公】 ○自己肯定感をもち、他者を受け入れられるようにする【開】
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
重点研究 担当 重点研推進委員	①研究テーマの具現化に向けた成果と課題が明確になる研究を推進する。(評価アンケート実施)②研究テーマに即した具現化職員研修を実施する。(講演会2回、授業を伴う研修4回、実技研修3回)③「子どもに任せる」授業の実現に向け、領域や内容を絞り、ターゲットを明確にした研究を進める。
健やかな体の育成 担当 ①食育②体育	①バランスイーナワークなどで得た知識をもとに健康によい食べ方ができるよう、学校、家庭の両面から食育を進められるようにする。 ②低学年から長縄の指導を徹底することを、他学年との交流も含めて進めていく。
学校風土づくり 担当 特別活動	①美西タイム(縦割り活動)で、意図的に異学年交流をすることで、学年に応じたふさわしい関わり方を学べるようにする。②「あいさつ」を学校風土にするために、あいさつ運動等を通して学校全体で継続的に取り組み、あいさつの大切さを実感できるようにする。
特別支援教育推進 担当 特別支援教育	①特別支援教室(Gルーム)で学習支援が必要な児童の、基礎的学力及び自己肯定感を向上させる。②特別な支援が必要な児童が安心できる学級づくりや保護者の理解の促進などについて研修を行う。③個別支援級と、一般級との交流を授業のみならず休み時間等も活用しながら行う。
地域協働推進 担当 地域協働	①学校運営協議会、地域協働本部、PTCA役員会、おやじの会、子ども会と連携し、子どもが地域行事へ参加するよう働きかける。(地域学習の充実、地域行事の広報活動の強化、教職員の地域行事への参加体制構築)②地域防災拠点訓練や防災教育を活用した、児童の防災意識を育てる。
豊かな心の育成 担当 ①行事②人権教育	①教職員と児童がめあてと振り返りを明確にして行事を実施し、資質・能力の育成に即した行事の精選をより推し進める。②学年ごとで共通意識を持ち、児童の自己肯定感を高める意図的・継続的な活動を行う。
	b7
	b8
いじめへの対応 担当 いじめ防止	①打合せや職員会議、学年研など様々な場で児童指導の情報共有を進め、児童指導体制を強化する。②教科分担制の長所を生かし、学年全体で各クラスの見守りを行っていく。③定期的ないじめアンケートで担任の児童面談を行い、一人一人の児童理解に役立てていく。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 ①育成②チーム学年③働き方	①メンティーの心配や疑問をもとに、教職員で学び合い、高め合う人材育成の仕組みを継続発展させていく。②4～6年生で教科担任制を推進し、職員の負担を分散し、全員で協力しながら業務を進めていけるようにする。③働き方改革推進担当と教務が連携し、各種取組の効果を検証し、さらに改善する。